



アップスフェス

オープニング記念
2019.3.23 sat
午後1:30-7:30
多目的ホール

若者の熱気でアップスを盛り上げよう♪

3月23日(土)には、「アップス」のオープニングイベント「アップスフェス」を開催。1月末までに応募してくれた世田谷区内で活動する12バンドの演奏や、5つのダンスチームのパフォーマンスをご覧ください。また、隣の地域体育館では、フットサル大会「アップス杯」を実施します。集まったメンバーで、即席のチームをつくってフットサルを楽しめます。

ゲスト出演が決定！

若者と一緒に「アップスフェス」を盛り上げていただく3組のゲストが決定。オープニングの先陣を切っていただくのは、和太鼓奏者の露木一博さん。体全体に響く力強い演奏をお楽しみください。そして、第2部のオープニングは、世田谷区を中心に活動を行うアイドルユニット MayuAina。声優にもチャレンジしている2人の歌声をお聞かせください。そして、最後を締めくくるのは昨年、全国デビューを果たした世田谷出身の中野悠平さんを中心としたバンド「世田谷ボーイズ」です。みんなでいっしょに盛り上がりましょう。

GUESTS

#1



露木一博

1981年東京都出身。玉川大学文学部芸術学科卒。大学時代に和太鼓と出会い2005年より「東京打撃団」で活動。2009年から定期的に「EXILE」らのツアーに帯同、2015年からロシアのモスクワで行われるジャパンフェスへ毎年出演。ビジュアル系ロックバンド「己龍」や「谷桃子バレエ団」にてアフリカンパーカッションとコラボなど国内外問わず幅広く演奏、指導、作曲活動中。5月にはアップスでクリエイターワーク「和太鼓ワークショップ」を実施予定。

GUESTS

#2



MayuAina

菅沼菜祐と吉田亜衣奈によるデュオユニット。作曲家都倉俊一氏のもと、ピンクレディー正規後継ユニット、ピンクベイビーズのメンバーとして活動。同プロジェクト終了後、MayuAina を結成。二人の奏でるハーモニーは定評があり、活動の幅を広げている。エマージェンザ日本大会準決勝。月光仮面放送60周年記念、宣弘社アンバサダーとしても活動している。

GUESTS

#3



世田谷ボーイズ

幅広いジャンルでキャッチーな楽曲、個性的なライブパフォーマンスで知られる。キャッチフレーズは「一度聞けば程度の差こそあれ誰もが気に入る無難なバンド」。そのバンド名にあるように、近年では世田谷区のイベントに呼ばれるなど世田谷代表バンドになりつつある。2009年夏にはロックフェスサマーソニックにも出演した。

オープニングイベント

アップス杯 フットサル大会

3月23日(土) 午後3時30分～6時30分

チーム参加、個人参加どちらも可能な交流フットサル大会です。どの試合も3試合以上、対戦できます。小学生・女性も楽しめるように独自のルールで実施します。

参加方法

【チーム参加は要事前エントリー／個人参加は当日エントリー】
地域体育館(アップス集合)
※エントリー受付は3月1日からホームページまたはアップス受付で！

アップス探検

アップスのさまざまな魅力をシリーズで伝えるコーナーです。
初回は、3月23日に開催する
「アップスフェス」の会場である
多目的ホールと関連する音楽スタジオを紹介します。

多目的ホール

アップスフェスの会場となる多目的ホールでは、普段は大きな鏡を使ってダンスの練習をしたり、卓球をすることができます。イベントの時には、収納式の舞台、音響・照明、スクリーンなどを使い、劇場として使うことも可能です。



気になるポイント01

照明

照明は、サスペンションライトとシーリングライトがバトンに吊られているほか、ローホリゾンライトがあります。操作はすべて調整室の照明卓でできます。手動で操作するほか、シーンごとの照明を記憶させて自動的に操作することもできます。ピンスポットも完備されています。



気になるポイント02

音響

音はメインスピーカーのほか、モニター用のスピーカーが設置されています。マイクはワイヤレスマイク4回路を含めて、10回路。ギターアンプなどを持ち込めば、すぐにライブ会場に変身です。



気になるポイント03

舞台



幅6.8m、奥行3.6mの収納式の舞台があります。普段は壁に収納されていますが、スイッチを入れると約4分で舞台が設置されます。

気になるポイント04

スクリーンとプロジェクター



ほぼ舞台と同じ幅の巨大スクリーンがあり、プロジェクターで映像を映し出すことができ、DVDの上映会などが可能です。イベント時には、携帯ゲーム機を使って大画面でゲームをすることもできます。

音楽スタジオ

重い扉を開けるとそこはまさに別世界。輝く新品のドラムがセンターに、その周りにはスピーカー、ミキサー、アンプが所狭しと置かれています。バンドの練習のほか、楽器や歌の個人練習にも最適。アフレコ体験なども可能です。



気になるポイント01

完全防音

人目を気にせず、思い切り音の自己表現ができる場所です。ドラムの音も河原で練習しているトランペットの音も、普段自由に出すことができない音の練習をすることができます。



気になるポイント02

充実した楽器と器材

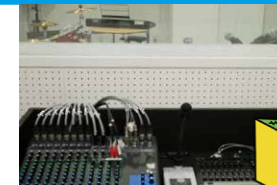
ロックでもジャズでも対応できるフルセットのドラムを装備。ギターアンプ・スピーカー・ミキサーなどもライブハウス並み。憧れのフェンダーのギターや、ローランドのキーボードなどの楽器も充実。



気になるポイント03

レコーディングも可能

スタジオ(大)を予約するとミキシングルームも使うことが可能です。スタジオで演奏した音を、自分たちの好みの音にアレンジして、SDカードなどに録音することができます。ダイナミックマイクの他に録音向きのコンデンサマイクなどもそろっています。



気になるポイント04

スマホで予約

中学生以上の若者が含まれるグループ(1人でも可)として団体登録の上、パソコンやスマートフォンから予約して利用することができます。当日空きがあればすぐに使うことも可能です。初めての利用時に必ずオリエンテーションを受けてください。

